

教育実践

ローンチ・シンポジウム

Launch Symposium on Education Practices in Shiroishi City

新しい学校のかたち —白石発の「キセキ」—

不登校児童生徒数は年々増加する中、2017年に「教育機会確保法」が施行され、不登校児童生徒に対して、多様で適切な教育機会の保証が重視されました。本市においても不登校対策の課題であります。その対策として、宮城県教育委員会「みやぎ魅力ある・行きたくなる学校づくり」推進事業に昨年度より取り組んできました。また、今年度4月に小中一貫の「学びの多様化学校」（いわゆる不登校特例校）を開校しました。現在、学びの多様化学校である白石南小学校・白石南中学校（通称：白石きぼう学園）には日々多くの児童生徒が連続して休むことなく通っております。

本シンポジウムでは、「不登校未然防止に大切なものは何か…」「なぜ不登校だった子供たちが、白石きぼう学園を居場所とし、楽しく通うことができていいのか…」「魅力ある行きたくなる学校とは何か…」これまでの歩み・現場のリアルな声から、不登校児童生徒を生まない学校づくり、未然防止や早期対応等の方向性を考え学び合うことで、本市の不登校支援を進化・深化させていくことに生かしていきます。



会場

白石市中央公民館

〒989-0206 白石市字寺屋敷前25-6

日付

令和6年2月8日（木）

時間

受付 14:30～
シンポジウム 15:00～16:40

参加方法

対面・オンライン

申込

応募フォーム

締切 令和6年1月26日



プログラム（裏面詳細）

【第一部】 白石発の「キセキ」 実践報告

この1年の取組・実践を児童生徒の声や姿、保護者の声を交えてリアルにお伝えします！

- 魅力ある・行きたくなる学校づくりの「キセキ」
・発表：白石市教育委員会指導主事【正路健太】
- 白石きぼう学園の「キセキ」
・発表：白石きぼう学園校長【我妻聡美】

【第二部】 学校の魅力を考える —パネルディスカッション—

学校の魅力とは何か… 児童生徒に寄り添うとは…
学校が楽しい・楽と言う子供たちの思いは何か…
今後の学校の在り方は… ともに考えます！

■ パネリスト（敬称略）

- ・白石市長【山田裕一】
 - ・宮城教育大学大学院教授【久保順也】
 - ・白石市教育支援センター所長・SV【狩野隆】
 - ・白石きぼう学園教頭【生出真理】
 - ・白石市立東中学校教諭【清原芙美子】
- モデレーター
・白石市教育委員会指導主事【星健太郎】

主催：宮城県白石市教育委員会
共催：白石市校長会
後援：宮城県教育委員会

連絡先
〒989-0292 白石市大手町1-1
TEL.0224-22-1342 FAX.0224-22-1345

担当：学校管理課
星・小野寺

プログラム

(敬称略)

2024年2月8日(木)

14:30 受付開始・オンライン招待

15:00 **オープニング**

■主催者挨拶

半沢 芳典(白石市教育委員会 教育長)

15:10

第一部 白石発の「キセキ」 実践報告

■魅力ある・行きたくなる学校づくりの「キセキ」

正路 健太(白石市教育委員会指導主事)

■白石きぼう学園の「キセキ」

我妻 聡美(白石きぼう学園校長)



我妻 聡美

正路 健太

15:45

第二部 学校の魅力を考える

—パネルディスカッション—

・パネリスト

山田 裕一(白石市長)★

久保 順也(宮城教育大学教職大学院教授)★

狩野 隆(白石市教育支援センター所長・SV 元白石市立白石中学校長)

生出 真理(白石きぼう学園教頭)

清原 芙美子(白石市立東中学校教諭)

*みやぎ魅力ある・行きたくなる学校づくり事業担当

・モデレータ

星 健太郎(白石市教育委員会指導主事)



山田 裕一



久保 順也



狩野 隆



生出 真理



清原 芙美子



星 健太郎

16:35

クロージング

■講評

宮城県教育委員会

★Guest Panelist Introduction



久保 順也 様

宮城教育大学大学院教育学研究科
高度教職実践専攻 教授

2022年4月より現職に就かれております。臨床心理学、カウンセリングを研究領域とし、宮城県教育委員会「学校以外の場で学ぶ児童生徒を支援するための連携に関するガイドライン」に係る検討会委員長を務めるなど、いじめ・不登校問題等の分野の第一線で御活躍されております。



山田 裕一 様

宮城県白石市 市長

2016年11月より40歳という若さで現職に就かれております。「誰一人取り残されない教育」を信条に、学力向上や不登校対策、また、子育て支援やシビックプライドの醸成を推進し、ICTを含む学校教育の充実や教育環境の整備等、教育施策に積極的に取り組んでおられます。